

2024年6月20日(週刊)

最新の開花情報は
公園HPをご覧ください。



① ネムノキが「見頃」です。



② アジサイが「見頃」です。



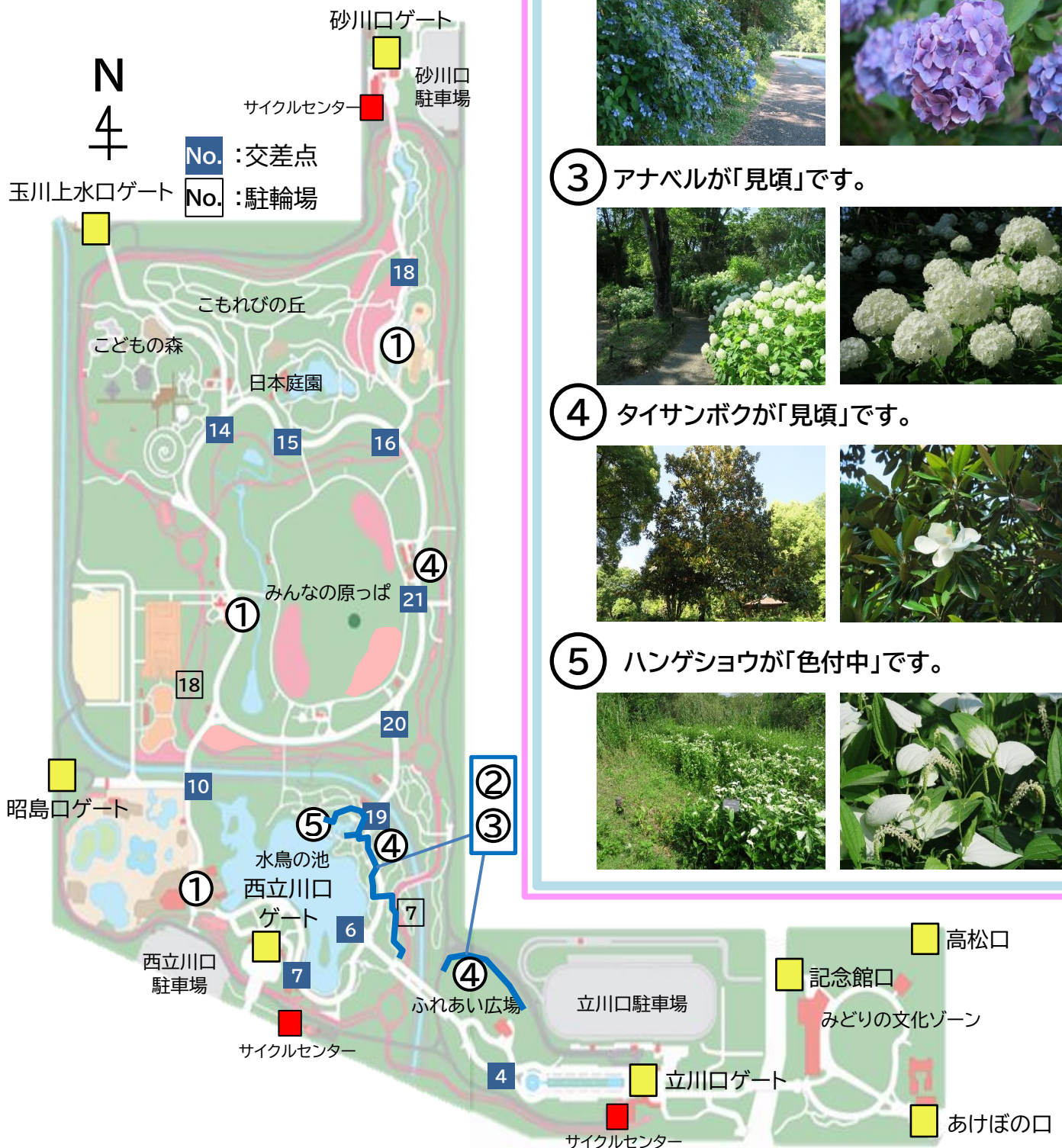
③ アナベルが「見頃」です。



④ タイサンボクが「見頃」です。

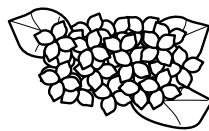


⑤ ハンゲショウが「色付中」です。





週刊花だより



2024.6.20(木)

	植物名	科名	状況	場所	一口メモ
草花	キキョウ	キキョウ	開花 始め	日本庭園、こもれびの丘南斜面	根が生葉にもなります。蕾が風船のように膨らむことから英名でバルーンフラワーと呼ばれています。
	ネジバナ	ラン	開花中	日本庭園、園内各所の芝生地	芝生地でピンクや白の小さな花をらせん状に咲かせます。モジズリという別名もあります。
	スイセンノウ	ナデシコ	開花中	花木園ロックガーデン	南ヨーロッパ原産の草花です。フェルトのような質感の葉っぱや茎が特徴的です。
	ハンゲショウ	ドクダミ	色付中	ハーブ園西側(水鳥の池北岸)	日当たりの良い湿地などで育ちます。花が咲く時期になると葉が一部を残して白色に変化します。
	アガパンサス	ユリ	見頃	西立川口ぶらぶら坂下	アガパンサスはギリシャ語で「愛らしい花」を意味します。花姿が似ていることから別名ムラサキクンシランと呼ばれます。
樹木	ノウゼンカズラ	ノウゼンカズラ	開花 始め	玉川上水口周辺	ラッパのような形の花を咲かせるつる性植物であることから、別名ラッパツルクサとも呼ばれています。
	キンシバイ	オトギリソウ	開花中	日本庭園	枝垂れた枝の先端にうつむき加減に黄色い花を咲かせます。江戸時代に中国から渡来しました。
	リョウブ	リョウブ	開花中	野草のこみち	初夏、長い白色の総花序を咲かせます。新芽は食用になる救荒植物で、飯に炊き込みリョウブ飯として食べられていました。
	ヤマアジサイ	アジサイ	開花中	日本庭園	林内の湿った木陰に自生している植物です。アジサイよりも全体的に小型で、細く柔らかな花姿をご覧ください。
	ノリウツギ	アジサイ	開花中	第3サークル周辺園路沿い ふれあい広場北側斜面	開花始めはガクアジサイのような形状からゆっくり伸びて房状となります。枝をもむとノリのようにべたつく特徴もあります。
	シモツケ	バラ	開花中	CHUMS周辺、こもれびの池	昔の下野の国(現栃木県)で最初に見つけられた植物とされています。
	アジサイ	アジサイ	見頃	花木園、ふれあい広場北側斜面 園内各所	平安時代から歌にも詠まれ親しまれている花です。園内に約9000株のアジサイが植栽されています。
	アナベル	アジサイ	見頃	花木園展示棟前、ふれあい橋北 ふれあい広場北側斜面	アジサイの仲間です。開花につれ薄緑色から白色に変わります。どこを剪定しても翌年花をつける性質があります。
	タイサンボク	モクレン	見頃	原っぱ東側園路沿い、花木園 ふれあい広場北側斜面	日本では公園樹としてよく植栽される常緑高木です。近縁種のヒメタイサンボクは落葉小高木です。
	ネムノキ	マメ	見頃	溪流広場レストラン前、こもれびの里 レイクサイドレストハウス前	日本では、この枝で頭をなでると早起きになる、体をさすって眠りを覚ませば農作業に精が出るなどの言い伝えがあります。
ハーブ園	カシワバアジサイ	アジサイ	見頃	西立川口ぶらぶら坂下	北米原産のアジサイです。白色の花を円錐状につけ、横向きか下に垂れ下がって咲きます。
	ラベンダー	シソ	開花中	ハーブ園、花木園売店	香りのよい紫色の花が特徴です。ポプリやサジェ、リースやハーブティーなどに用いられます。
	ベルガモット	シソ	開花中	ハーブ園	花は唇形で、茎の先端に輪状に花を咲かせます。ハーブティー、香料、薬用に使われることもあります。
こもれびの丘	タイム	シソ	開花中	ハーブ園	多数の園芸品種が栽培されており、古くからハーブとして用いられています。日本では、イブキジャコウソウというタイムの仲間が自生しています。
	ホタルブクロ	キキョウ	開花中	こもれびの丘南斜面	大きな円筒形の袋のような花を咲かせます。昔、こどもがホタルを花の中に入れて遊んでいたかもしれないと想像して付けられた名前です。
	オカトラノオ	サクラソウ	開花中	こもれびの丘南斜面	花穂をトラのしっぽに見立て、高台によくみられることからこの名が付けました。若芽は食用にもなります。
盆栽苑	ヤブレガサ	キク	開花中	日本庭園、こもれびの丘南斜面	早春に傘が閉じたような若芽を付け、葉が破れた傘のように見えるため名前が付けられました。初夏、長い茎の先に白い花を咲かせます。
	床の間展示	山野草の寄せ植え「カワラナデシコ、ヒメノボタン、他数種」をご覧ください。			